



研究/開発/設計/製造などの現場を支え、  
時代を築いた傑作機列伝

## HP/アジレント社にみる RF測定器の名機たち

野口 倫稔  
Michitoshi Noguchi

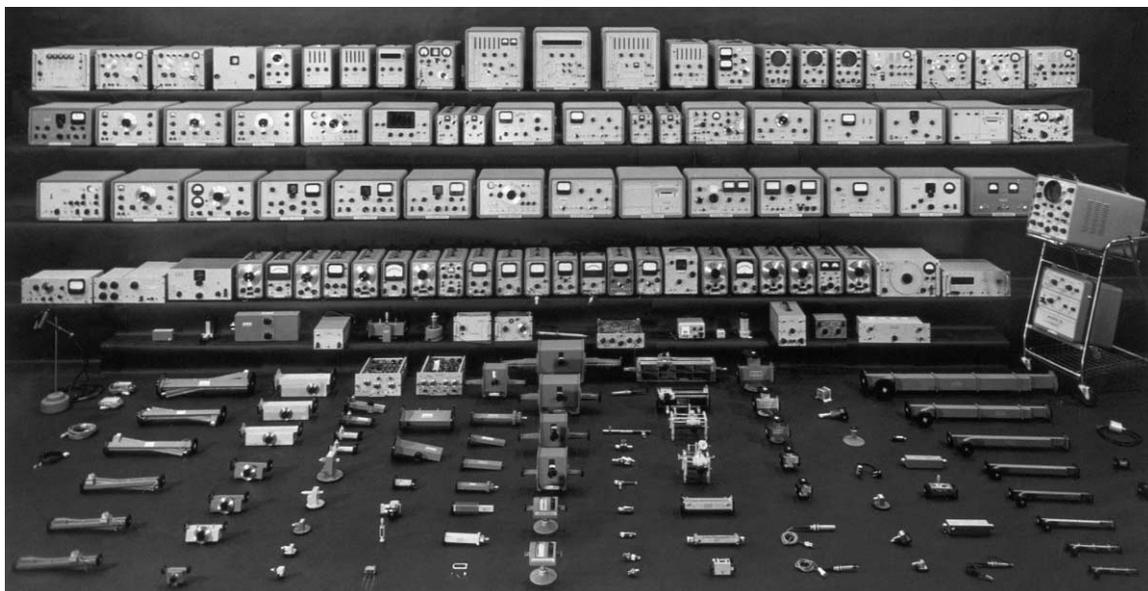
Hewlett Packard  
ヒューレット・パッカード社(以下、HP社)は1939年に、現在ではシリコン・バレー発祥の地にも指定されているガレージ(写真1)で事業を開始しました。オーディオ発振器200Aから始まった会社は、電子測定器全般を手がけ、RF分野でも幅広い製品群を用意し、製品の開発製造になくてはならない会社となりました。写真2は1959年の全測定器のラインアップです。その後、計測器のコントローラから始まった、コンピュータ事業の売り上げが大きくなり、1999年にHP社はコンピュータ事業を残し、計測器、半導体部品、化学分析、医用電子機器事業を、アジレント・テクノロジー社(以下、アジレント社)に分社し、プレミアム・メジャーメント・カンパニとして、新たな一歩を踏み出します。

本稿ではHP社およびアジレント社の60年におよぶ歴史の中で、RF分野において業界標準として長い間使われて時代を築いた製品を、シグナル・ジェネレータ(シンセサイザ)、スペクトラム・アナライザ、ネッ

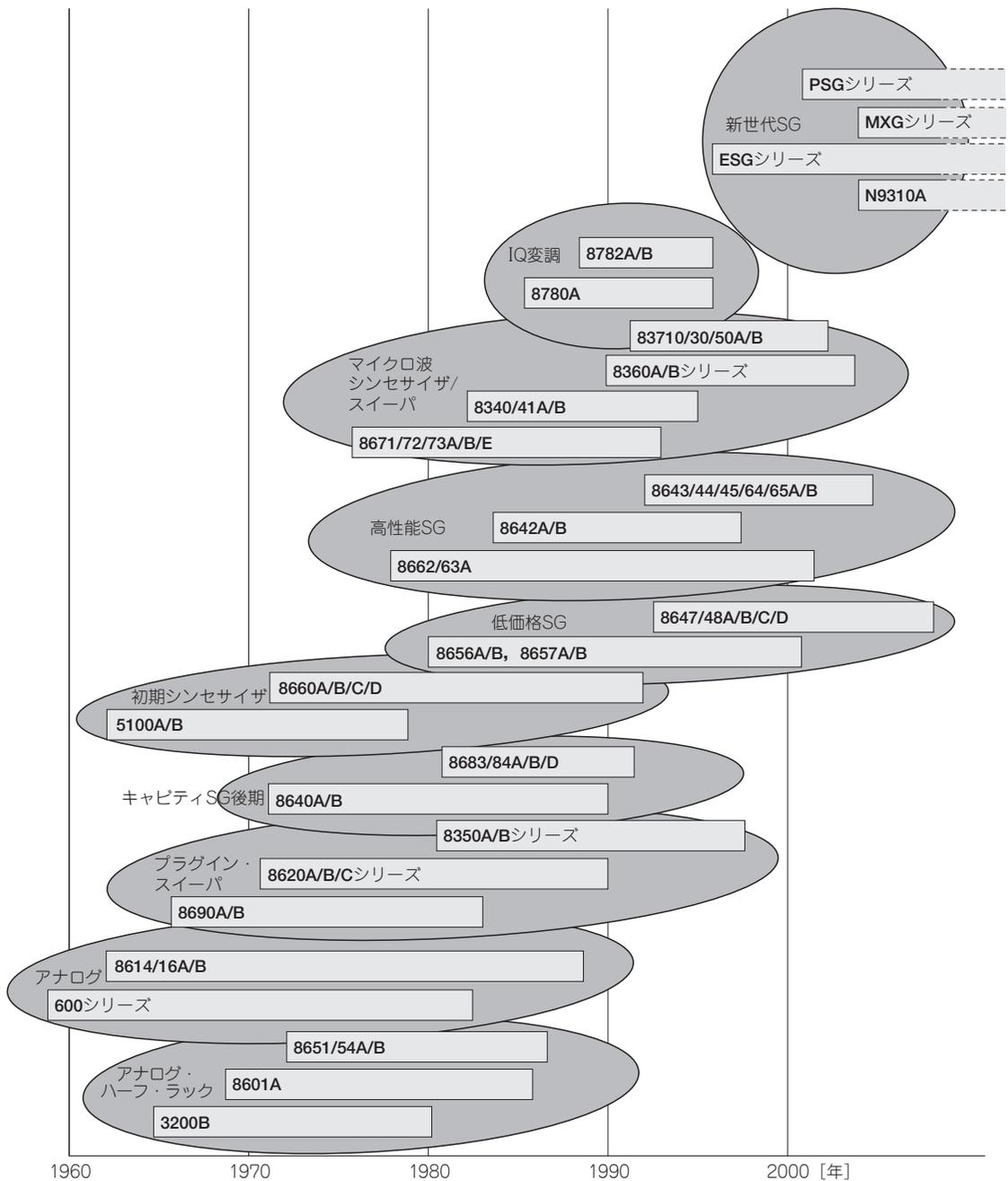
トワーク・アナライザおよびその他に分けて、振り返ってみたいと思います。



〈写真1〉  
ヒューレット・パッカード社が創業したガレージ



〈写真2〉1959年の測定器全ラインアップ



〈図1〉シグナル・ジェネレータ年表

## ■ シグナル・ジェネレータ

1948年のHPのカタログに初のRF信号発生器(以下SG)が登場します。一方、アジレント社の歴史が書かれたウェブ・サイト<sup>(1)</sup>によると「1943年、海軍研究所およびレーダ妨害装置向けに信号発生器を開発し、マイクロ波分野へ参入」と書いてあります。正しい時期はわかりませんが、1940年代半ばにSGから、RF測

定分野に進出したことは間違いなさそうです。HP/アジレントの歴代のSGラインアップを図1に示します。

なお、最近では携帯電話や無線LANといった、デジタル変調が一般化しており、1986年に発売された8780AのようなIQ変調の流れを汲む製品が、主流となりつつあります。ここではSGがシンセサイザ化する過程の装置を取り上げるとともに、アナログ変調の分野での製品を取り上げます。